



魅惑の江戸絵画

平成29年
10月14日(土)～11月13日(月)

左：県文 松村景文「老松孔雀」(部分) 個人蔵
右：曾我蕭白「西王母之図」(部分) 個人蔵

公益財団法人 致道博物館

山形県鶴岡市家中新町 10-18 TEL 0235-22-1199 FAX 0235-22-3531

主催：致道博物館 共催：山形県・公益財団法人山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会

魅惑の江戸絵画

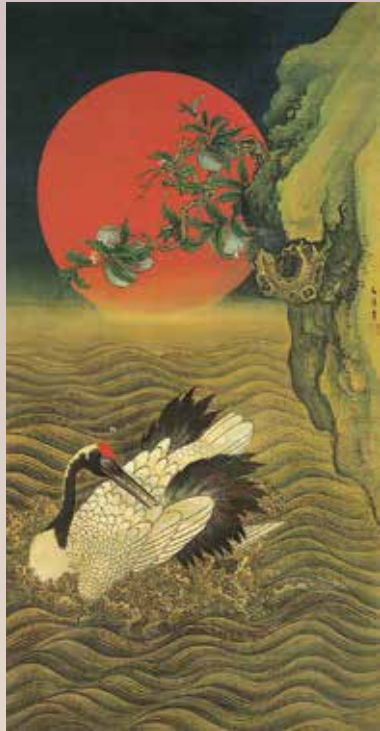
江戸に幕府が置かれてから260年余に渡る太平の世に、日本の絵画は大きく発展しました。

江戸初期に幕府の御用絵師となった狩野探幽は、「江戸狩野派」と呼ばれる大きな一派を形成し、幕末まで隆盛を極めました。江戸中期になると、京都画壇に「写生画」を創造した円山応挙が登場し、一世を風靡します。一方、中国の文人画に影響を受けて日本独自の「文人画(南画)」を大成した与謝蕪村や池大雅、また、異色奇想な画風の伊藤若冲や曾我蕭白など、個性的な画人が登場しました。江戸後期には、当時の名所や美人などを描いた「浮世絵」が江戸を中心に流布し、多彩な発展を遂げました。

本展では、江戸時代に活躍した画人たち、狩野探幽、酒井抱一、円山応挙、伊藤若冲、与謝蕪村、池大雅、谷文晁、喜多川歌麿らの作品を出品し、江戸絵画の一端を紹介します。



池大雅「江山清秋図」 慈光明院蔵



谷文晁「海鶴幡桃園」 山形美術館蔵



与謝蕪村「雪中飛鴉図」 慈光明院蔵



円山応挙「福祿寿」 個人蔵



司馬江漢「鉄砲洲富士遠望図」 当館蔵

公益財団法人 致道博物館

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 休館日 会期中無休
 入館料 一般700円/高大生380円/小中生280円
 ※20名以上で団体割引有 ※常設展・庭園の観覧料を含む



交通案内

- JR鶴岡駅よりバス10分「致道博物館前」下車 徒歩2分
- 山形自動車道鶴岡I.C.より車で5分
- 庄内空港より車で20分